

物流改善支援するメーカー

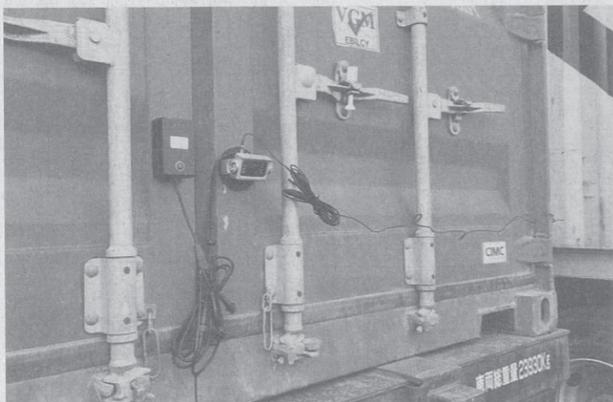
T C I

自動車電装品の開発、販売、取り付けを手掛けるT C I(尾崎俊行社長、大阪市淀川区)は、トレーラにも取り付け可能な無線式バックカメラやフォークリフト用全方位A I(人工知能)カメラなど、2022年から物流事業者向け商品を立て続けにリリースしている。

1月に発売した無線式バックカメラはマグネット式で、取り付けが1分ほどで終了する点が特徴。工事やそれに伴う工賃も不要だ。シャシー部分だけでなく金属製コンテナに直接取り付けられることもできるため、設置場所の自由も利きやすい。

続いて、2月にはリフト向けの360度全方位カメラをリリース。リフト上部に設置することで、本来死角になる部分を運転席モニターで確認できる。また、

事業者むけカメラ発売 多数展開し市場定着へ



無線バックカメラをはじめとする商品を立て続けにリリース

リフトの可動域に人間が近付くとA Iが感知し、ブザーやパトライトでドライバーと周囲の人間に対して警告する。

営業開発本部の田中浩輝部長は「カメラの開発は当社の得意分野であり、今後も物流事業者向けの商品を多く展開して市場に定着させたい。既に顧客からフィ

ードバックも多く頂いており、それも反映させていく」と話す。3月には、フォークリフト用の更なる新商品として、マスト部分に設置して爪先部分を監視するカメラを発売。トレーラ用無線カメラと同様のマグネット式のためワンタッチで取り付けられること、無線式ながら1080ピクセルの高解像度であることが最大の特徴。今後も、カメラだけでなく運送事業者向けアプリのサービスなど多角的な展開を計画している。

(蓮尾輝)

無電極ランプ取り扱い

コタニ



長寿命&拡散性良好

コタニ(小谷哲也社長、神戸市中央区)は水銀燈、LED(発光ダイオード)に変わる新たな照明として無電極ランプの取り扱いを拡大し、より働きやすい物流倉庫づくりをサポートしている。既に物流業界内外問わず多くの施設に導入実

績があり、他の照明と比べて影が濃くならない、全体が均一に明るくなりやすいなど独自の強みを発揮している。

無電極ランプは蛍光灯技術の一つであるものの、球切れの原因となる電極やフィラメントがないためLED

Dと比べても非常に長寿命であること、拡散性が良く目が疲れないことが特徴。特に拡散性の良さは物流施設と相性が良く、太陽の自然光とほぼ同様に見えるため荷物やラベルもよく見える

自然の光のように拡散するため、ラベルもよく見える

ベルが白飛びせず、ロケーションを変更したり荷物を高く積んだりした場合でも常に施設全体を明るく保てるという。

同社で照明士を務める塩田しおり氏は「無電極ランプは小型化が難しく、家庭で使用されることはほぼないため、LEDに比べて知名度が低い。しかし、影が濃く出ないため元照明が不要になるなど、ラベルと突き合わせてピッキングしなればならない物流施設には非常に適している。ランニングコストもリーズナブルなので、切り替えの際にはぜひ検討して欲しい」と話す。

導入費はLEDよりやや高くなるものの、拡散性を利用した台数減、長寿命によるメンテナンス費の削減で、長期的に見ればLEDに比べても廉価になるとい

う。防水・防塵・防爆と各種仕様を取りそろえ、保証温度もマイナス40度からセ氏60度までと幅広いため、環境を選ばずに設置できる。(蓮尾輝)

ヨロズ物流

ヨロズ物流(新谷剛社長、大阪府富田林市)が輸入・販売する、中国タイヤメーカー最大手のZ C Rラバーが製造するトラック用タイヤが、安価でありながら高性能だと好評だ。90台以上の車両を保有するサザン(岡嶋眞一社長、和歌山県橋本

安価な高性能タイヤ



1台試用・大量受注対応

市)は、試用期間に安全性を確認した上でコスト削減効果の高さを評価し、3月に500本程度導入した。ヨロズ物流は、Z C Rラバーのブランド「CHAOYANG(チャオヤン)」の日本の総代理店として認定されている。更に、実際に自社業務で使用して走行距離ごとの溝の深さや平均燃費などのデータを収集でき

るという運送企業ならではの利点を生かして、品質の高さを実証している。雨、浅雪の路面に強い「CSR11W」や、低燃費性重視の「AZ53」サザンでは、3月に500本程度導入

4軸低床車1台でチャオヤンのタイヤを計12本使用する場合、国産タイヤより10万円程度安く購入して試みできる上、大量受注にも対応している。

サザンでは、21年の夏ごろに10軸低床4軸のトラック1台で試用したところ、安全性や乗り心地、燃費について、ドライバーから「何の支障もない」と報告があったため、22年3月に500本程度導入した。従来使用していた国産のタイヤと比べると、1本1万円程度コストが下がっており、トラブルも起こっていない。

(根来冬太)

ターソン

トラック用品の製造・販売を手掛けるターソン(黒田基仁社長、兵庫県姫路市)は、車中泊するドライバーの負担軽減のため、トラックの車種・サイズ別寝具の取り扱いに力を入れている。車種に合わせて寝具の製造・販売を行うのは業界でも初の試みだという。

車種別寝具で快眠提供



車種別サイズを取りそろえ、反発性も高く腰痛軽減にも役立つものを予定していたものの、特に要望が多かったため車種別の製造に踏み切った。

使用したドライバーが回答したアンケートでは、クッション性、体へのフィット感、耐久性の評価が特に高く、肩凝りや腰痛の軽減にも効果があったという。

黒田社長は「価格は少し高めとなったが、その分質の良いものができた」と信じている。トラックドライバーの平均年齢は上昇を続けており、体のケアは必要不可欠。健康に長く働くためにも、良い寝具で快適な睡眠を取って欲しい」と話している。(蓮尾輝)

腰痛・肩凝りにも効果

トカパーやオート三輪のほろなどを製造する自動車内装業者として創立。65年に高砂市に「ステレオ喫茶ターソン」を出店し、オーディオテープの「8トラック」や自動車用品の小売りを開始した。76年に赤穂市に営業所を開業すると同時にトラック用品の取り扱いもスタート。同年公開の映画「トラック野郎・爆走一番星」の制作にも協力した。

自動車内装業をルーツに持つことから、現在でも縫製には特に強いこだわりを持つ。特に、ロングセラーのハンドルカバーは「少し